

令和6年度 第1回環境水理部会 議事録

日時： 令和6年7月22日（月）17:00～18:10

場所： オンライン（ZOOM）

参加者： **部会長**：赤松（山口大） | **副部会長**：新谷（都立大） | **幹事**：東（国環研），巖島（九工大）， | **委員**：赤堀（愛知工大），石塚（香川大），乾（福岡工大），入江（大阪大），梅田（日本大），大槻（山梨大），片岡（愛媛大），川村（寒地土研），工藤（いであ），小林（京都大），斎田（鹿児島大），重枝（九工大），清水（日本工営），鈴木（八千代エンジニアリング），田井（福岡工大），田代（名古屋大），都築（リバフロ），鶴田（建設技研），中西（土研），中山（神戸大），古里（水資源），細川（港空研），牧野（静理工大），溝口（土研），横山（都立大），吉川（北見工大），
（出席者：下線，計 16/30 名。敬称略。）

オブザーバー：井芹（温州大），槐（土研），久加（富山県大），中谷（大阪大），松尾（中電技術コン），丸谷（九大），三輪（鳥取大），矢野（九大）（出席者のみ記載，敬称略。）

1. 前回（令和5年度第2回）の議事録の確認（赤松）

・前回（令和5年度第2回）の議事録について確認を行った。

⇒異議なし

2. 部会委員・オブザーバーの確認（赤松）

・所属等の変更について確認を行った。

・委嘱状が必要な場合は連絡をいただき，土木学会より発行する。

3. 水工学委員会の開催報告（赤松）

・水工学委員会（6月5日）について報告された。

→「令和6年度水工学に関する夏期研修会」（8月29日，大阪公立大学）の紹介。学生等の参加を依頼。R7は福岡で開催。

→「第28回水シンポジウム2024 in ながの」（シンポジウム10月31日，現地見学会11月1日）の紹介。

→「2024年度水工学講演会」（12月2日～4日，富山県民会館）の紹介。2025年度は福島で開催。

→中国とのJSCE-CCESJointSymposiumは10/9～12日開催（会議は10,11日の予定）で，環境水理部会にも参加の打診あり。⇒中国開催でビザが必要，時期的にも授業が始まっている時期であるため，再延期の可能性もある。明日（7/23）に会

議があるため、情報は後日提供する。(矢野)

4. 各 WG 報告

- ・沿岸海洋環境（代理：赤松）
 - ・意見交換会，ワークショップ等を実施予定

- ・火山麓河川水系（代理：赤松）
 - ・第 2 回談話会（御嶽山の話題）を開催予定

- ・閉鎖性水域（中山）
 - ・現地見学会・発表会を 10 月末，沖縄本島で開催予定
トピック：ブルーカーボン，Freshwater Carbon
 - ・佐賀大押川先生中心に進めている会合（閉鎖性 WG に近い内容で物理の重要性を持ち合う場）を 3 月末に佐賀で実施しており，今後閉鎖性水域の一部としての開催も検討中。
⇒アナウンスは WG メンバー以外にもいただきたい。(赤松)

- ・適応（梅田）
 - ・ワーキング開催予定

- ・水温（赤松）
 - ・意見交換会を 8/9 実施予定（山口大でハイブリッド開催、土研溝口専門研究員の講演）

5. 2024 年度研究集会・現地見学会報告（大槻）

- ・「環境水利部会研究集会 2024 in 奄美大島」について報告された。
- ・若手研究者・学生の参加が多く，35 歳以下を対象とした優秀発表賞（研究者、学生 1 枠ずつ）も設け、盛況であったため次回以降も実施する。
- ・レクリエーションもあり，環境省阿部様の発表も面白く，非常に充実した内容であった。(赤松)

6. 2025 年度研究集会・現地見学会の予定（新谷）

- ・2025 年度環境水利部会研究集会について，以下の案として，新谷副部長から提案があった。
 - ・環境も良く，諫早湾の見学，長崎大中川先生にご協力いただける可能性があることから，長崎県を提案。

- ・時期は6月前後を予定。
- ・スケジュールはパターン1：島原半島の見学や雲仙での発表会，宿泊は周辺温泉宿，パターン2：高島の観察や長崎大学での発表会，宿泊は長崎駅周辺を検討中。

⇒異議なし。長崎県での開催とすることとし，内容については意見があればいただくこととする。

7. 学生オブザーバー制度（赤松）

- ・研究集会でアンケートを取った結果，4名から回答があったため，4名を学生オブザーバーとして提案する。
- ・今後，メーリングリストを作成し，WG等各種案内も送付し，参加いただくこととする。メーリングリストは管理等も簡便であるためグーグルで作成することとする。
- ・学生オブザーバー内部でどう動くかは，学生から意見も聞きながら，学生の中で話してもらい，検討していきたい。

⇒異議なし。まずは動いてみて，状況を見ていくこととする。

8. オブザーバーの推薦に関して（赤松）

- ・愛媛大片岡先生より，東京理科大学田中助教のオブザーバー就任の推薦があった。

⇒異議なし。今後参加に向けて調整を行う。

9. その他

- ・過去に開催していた流域圏シンポジウムについて，開催に向けて調整を行う。盛況であれば引き続きの開催を予定する。幹事は赤松部会長。（赤松）

⇒異議なし。

- ・土研からの依頼でもあるが，環境水理，環境ができる土木系の人材育成が課題であり，学生に「就職しながら博士課程を取得するような道」を紹介する場を設けたいと考えている。（赤松）

⇒港空研，国環研ともに同様な状況である。（細川、東）土研を含めた3機関での開催として調整を進める。（赤松）

⇒民間でも受け入れる場所があると尚良い。（梅田）民間もウェルカムであることを知ってもらふ必要もある。（赤松）元々の学生が減少しているということも影響している。

（工藤）就職活動のイベントに兼ねて実施できるとよいのではないか。（古里）

以上